



第15回体育祭を開催しました！



5月22日(土)と5月23日(日)に第15回体育祭が開催されました。

今年度の体育祭のスローガンは「笑顔」でした。スローガンのように明るい笑顔あふれる体育祭となりました。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため無観客での開催となりましたが、保護者の皆様には様々な面でご協力いただきありがとうございました。

～小学部～5月22日(土)

スローガンのように、小学部全員が一致団結して明るい笑顔があふれる体育祭を行うことができました。

小学部の子どもたちは、約2週間前から徒競走、玉入れ、ダンス、チャレンジタイムの練習に取り組んだり学年ごとのシンボル旗をつくったりして当日を楽しみにしていました。



体育祭当日は、グラウンドのコンディションが十分でなかったことや子どもたちが練習で慣れ親しんだ場所ということで体育館での実施となりました。

徒競走では、コースに立って名前を呼ばれると「はい。」と返事をしたり手を挙げたりすることができました。「よーい、ドン！」の合図を聞くと、キラキラテープのゴールを目指してそれぞれのペースで最後まで走りました。

学年対抗での玉入れでは、どの学年もチーム一丸となって、一生懸命投げました。近くのかごに確実に玉を入れていく子、高いところのかごを狙って思い切り投げる子、それぞれの力を存分に発揮することができました。



玉入れの後のダンス「げんきげんきマーチ」では、小学部らしく明るく元気に踊りました。

D課程のチャレンジタイムでは、斜面台を使ってボールを転がしたりくす玉を割ったりし、持てる力を十分に発揮して頑張りました。



全体を通して、頑張っている友達に拍手をしたり「がんばれー。」と応援の声をかけたり、温かな雰囲気の中での体育祭となりました。

第 15 回体育祭を開催しました！

～中学部～5月22日(土)



中学部はエール交換、徒競走、とうせん台風＆ダンスの3種目を行いました。

天候が心配されましたが、生徒たちのやる気に応えるように太陽も出て、グラウンドで開催することができました。

エール交換では、赤白各団長の指揮のもと、息のそろった「3、3、7拍子」でお互いにエールを送り合い、熱い競技が始まりました。



徒競走は、それぞれの力に合わせて、30M、50M、

100Mの距離で行われました。ゴールテープを目指して、抜きつ抜かれつの白熱した走りを見せる組やそれぞれのペースで走る組など、どの組も一生懸命な姿が光っていました。また、最後まで諦めずに走る生徒、ゴールした瞬間に「やった～！」と大喜びする生徒、一位になれずに悔しがる生徒など、普段はなかなか見られない様々な表情や姿を見せてくれました。



とうせん台風は、赤組白組に分かれて行いました。3人組でバトンを運ぶ場面では、お互いを気遣いながら走ることができました。また、赤組も白組もそれぞれに全学年が協力し、力の限り走り抜き、終わればお互いに称賛し合う瞬間が微笑ましく、また、感動できる場面でもありました。

両チームがゴールした後は、全員がグラウンドいっぱいに広がり、「紅蓮華」の曲に合わせたダンスを披露しました。リズムに合わせて、元気いっぱいキレのあるダンスを見せてくれました。特に、刀を振り下ろす振り付けは練習時から力を入れており、格好良く踊っていました！最後に全員で「ヤー！」と声を出して締める場面では、息がぴったりで、中学部が一つになった場面でした。

赤組白組それぞれのチームカラーで、生徒たちが工夫を凝らして作った衣装もバッチリきまっていました。



第 15 回体育祭を開催しました！



～高等部～5月23日(日)

高等部の体育祭は、生徒たちの熱い思いが雨雲を吹き飛ばした晴天の中で行われました。応援合戦、徒競走・チャレンジタイム、ダンス・スタンツ、赤白リレーの4種目の白熱した競技が繰り広げられました。



応援合戦では、赤組白組それぞれ応援リーダーの動きと、団員の一致団結した声や動きで迫力ある応援となりました。

各組ともに、工夫を凝らしたかけ声や振り付け、衣装で、大いに盛り上がり競技に向けて気合が高まりました。



徒競走は、30M、50M、100Mの中から自分で走る距離を決め挑戦しました。ゴールを目指してそれぞれの出せる力を存分に発揮した走りを見せてくれました。カーブでは抜きつ抜かれつの名勝負も見られ、白熱した勝負が繰り広げられました。



チャレンジタイムは、ボールを転がして行く手を阻む壁を倒したあと、待ち受ける赤白組の団長とじゃんけんで勝負をしゴールを目指しました。それぞれができる動きを活かして一生懸命取り組みました。応援席からの温かい拍手もあり、心温まる競技となりました。

ダンス・スタンツも、どちらの種目に出場するか生徒自身が決め練習に取り組みました。ダンスでは明るくはじける笑顔と空に大きく広がる鮮やかなバルーンでコロナ禍を吹き飛ばすような気持ち良さにあふれていました。スタンツでは4つのチームに分かれ、それぞれに息のあったキビキビとした爽やかな動きを見せてくれました。どちらも高校生らしい潑刺とした演技が印象的でした。



赤白リレーでは、各組から選抜された8人が力強い走りとの息の合ったバトンパスで会場は大いに盛り上がりました。選手以外の生徒たちも拍手やかけ声で応援し、高等部全体が一つになったリレーとなりました。

【寄宿舍】寄宿舍夏のビンゴ大会！

今年もコロナウイルスの影響で夏まつりの代わりに「夏のビンゴ大会」を行いました。

自分のビンゴカードを片手に、何の数字が出るかドキドキしながら待つ子どもたち。カードの中の数字が出ると「やったー！」「あった！」と大きな声で喜んで近くの友達と話している姿が微笑ましかったです。



「ビンゴ！！」と数字が揃った時の嬉しそうな顔、また景品を手にした時の笑顔は本当に輝いていました*^o^*

今年も夏まつりを行えませんでした、みんなでも盛り上がり、楽しんでいる姿を見ることができて良かったです。



高等部前期就業・施設体験、校内実習がおわりました！

卒業後の進路決定に向けて、高等部では前期と後期、年に2回の就業・施設体験を行っています。新型コロナウイルス感染の対策を行い、体験先と保護者の皆様のご協力を得ながら今年度も体験を実施することができました。

1年生は主に校内実習に取り組み、それぞれの作業班で一日を通して働くという生活を体験することができました。後期には、実際にそれぞれの体験先で働く体験をする予定です。2年生は主に2週間の就業・施設体験を行いました。1年生の時の体験で学んだことを生かしながらさらなる成長を目指しそれぞれの目標を掲げて体験をしました。自分の希望や適性をはっきりと見極めていけるように、後期もまた自分のやりたいことに挑戦してほしいと思います。3年生はいよいよ進路を決定する時期が迫る中3週間の体験を行いました。1、2年生のころから学んできたことを糧として自分のできる限りの力を発揮してくれたことと思います。これから今回の体験で学んだことや気づいたことをもとに、自分と向き合い卒業後の進路について考え、それぞれの希望実現に向けて前進していきましょうと思います。

また、職業自立コースでは全学年で3週間の就業・施設体験が行われました。1年次からの体験を通して経験を積み、それぞれの希望進路の実現に向けて取り組んでいます。

今後も生徒たちの努力が形になるよう職員も一丸となり、進路学習や体験を行っています。保護者の皆様も引き続きご協力のほどお願いいたします。



後期就業・施設体験は10月25日（月）から予定されており、高等部生徒98名全員が実施する予定です。1年生にとっては初めての就業・施設体験となります。高等部3年間で少なくとも5回の就業・施設体験を実施する予定です。しかし、体験先の状況によっては受入人数が制限されたり3年生が優先されたりするので、必ずしも希望通りにいくとは限りません。1カ所に決めるのではなく、いくつかの事業所の情報を調べておくことも大切です。体験先や進路先についての情報収集は積極的に行ってください。学校正面玄関前の進路情報の掲示や「福祉事業所紹介リーフレット」をご活用ください。また、情報収集の手段として、福祉事業所見学を積極的に行かれて実際に施設環境を見たり、担当者から話を聞いたりすることも有効です。見学については保護者の方で独自に計画されても構いません。夏季休業中に是非、見学を積極的に行ってみてください。具体的な就業・施設体験の依頼については学校が行います。見学した事業所で就業・施設体験受入の約束をされてもその通りにならないことがあることはご理解ください。

相談支援部より

本校では、地域の特別支援教育の推進のために、地域のセンター的機能を果たすべく、教育相談・巡回相談等を行っています。どうぞ、ご活用ください。

相談支援部担当：進藤・浦郷・川崎：

TEL 0954-66-4911